学校番号	205

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	生物（数研出版）						
副教材等	エッセンスノート 生物 新課程対応(啓林館) 新課程 リード Light ノート 生物（数研出版） 二訂版 ニューステージ生物図表（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1年次の生物基礎、2年次の理科総合演習（生物）の内容を踏まえて、生物を学習します。
・授業は4単位（週に4回）です。進行が速いのでしっかりついてきてください。
・教科書、図録、問題集を用いて授業を行います。
・授業には真摯な態度で取り組んでください。寝ている時間はありません。学習に集中できるいい雰囲気を全員でつくり、それぞれの進路に敬意をもって接してください。
・実験・観察では、まっさらな気持ちで積極的に取り組んでください。
・「課題レポート」、「問題集解答冊子」、「内容のまとめ」など、課題の提出を求めます。
・授業内容だけでなく、問題集や模試などから得た知識も加えるようにしてください。
・既習分野については、基本事項をしっかりと自分のものにしておきましょう。
・分野によっては、実践的なレポートを課します。提出してしまえば終わりの一過性の課題ではなく、時には訂正・再提出もしながら、よいレポートを仕上げてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】生物学の基本的な概念・原理に関する知識と、身の回りの生物現象を科学的な根拠をもって捉える視点、必要な実験を行う技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】生物や生物現象に関する観察や実験を通して、特徴や変化を定量的に測定する視点や、必要な実験を設計する計画力、それらを他者に伝える表現力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】生物現象を科学的に探究しようとする意欲と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する倫理観を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物の構造的・機能的単位が細胞であることを理解し、生物現象を細胞の機能に基づいて捉えることができる。 観察，実験などを通して生物や生物現象に関する基本的な知識を身に付け、概念や原理を理解している。	身の回りの生物や生物現象を、生物学に関する知識・理解に基づいて、科学的に捉え、観察・実験・資料を通じて，論理的に考察・説明することができる。	独力で考えるだけでなく、他者と関わり、競い、意見を交えることで、自らの理解を修正し、深めることができる。 また、集団としてより良い学びの場を形成することに貢献する意識を持ち、実際にそのような行動を取ることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	遺伝情報の発現と発生	・DNA の構造と複製 ・遺伝情報の発現 ・遺伝子の発現調節 ・発生と遺伝子発現 ・遺伝子を扱う技術	a:生物現象における DNA のはたらきとそのしくみを理解している。 生物工学の手法について基本的な知識を身に付ける。 b: DNA に関する資料に基づいて、DNA の複製や遺伝子発現のしくみを見出し、説明できる。 c:真摯な態度で授業に取り組み、提出課題等の期限を守ることができる。 他者と協力して理解を深め、学び合いに寄与する行動をとることができる。	考査 課題 小テスト 実験技能	考査 課題 小テスト レポート	まとめプリント レポート グループワークへの参加
	動物の行動と反応	・刺激の受容 ・ニューロンとその興奮 ・情報の統合 ・刺激への反応 ・動物の行動	a:動物の環境応答に関する基本的な用語とその概念を理解している。 動物の行動を定量的に捉える視点を身に付けている。 b:動物の行動のしくみを理解し、その生態や進化と結び付けて説明できる。 c:真摯な態度で授業に取り組み、提出課題等の期限を守ることができる。 他者と協力して理解を深め、学び合いに寄与する行動をとることができる。	考査 課題 小テスト 実験技能	考査 課題 小テスト レポート	まとめプリント レポート グループワークへの参加
2学期	植物の環境応答	・植物の生活と植物ホルモン ・発芽の調節 ・成長の調節 ・器官の分化と花芽形成の調節 ・環境変化に対する応答 ・配偶子形成と受精	a:生物現象を、物質の化学的な相互作用として理解している。 b:植物の環境応答に関する実験や観察、資料学習を通してその特徴を見いだし、適切なモデルを用いて説明することができる。 c:意欲的に実験に取り組み、ほかの生徒と協力・相談しながら実験を進めることができる。	考査 課題 小テスト 実験技能	考査 課題 小テスト レポート	まとめプリント レポート グループワークへの参加
	生物群集と生態系	・個体群の構造と性質 ・個体群内の個体間関係 ・異種個体群間の関係 ・生態系の物質生産と物質循環 ・生態系と人間生活	a:生態系に関する基本的な用語とその概念を理解している。 b:生態系に生じた変化が、系全体に及ぼす影響を予測し、系内部の相互作用に基づいて説明できる。 c:真摯な態度で授業に取り組み、提出課題等の期限を守ることができる。 他者と協力して理解を深め、学び合いに寄与する行動をとることができる。	考査 課題 小テスト 実験技能	考査 課題 小テスト レポート	まとめプリント レポート グループワークへの参加

3 学 期	生 物 学 の ト ピ ッ ク	・生物学史概論 ・生物と人間生活 ・生命倫理	a:生物に関する基礎的な知識を体系的に整理することができる。 b:生物で学んだ内容が、実生活のどのような場面で利用されているか、実例を挙げて説明することができる。 c:真摯な態度で授業に取り組み、提出課題等の期限を守ることができる。 生命を尊重し、自らの倫理観に基づいて行動を選択することができる。	考査 課題 小テスト 実験技能	考査 課題 小テスト レポート	まとめプリント レポート グループワークへの参加

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度